

第115期
報告書

株主のみなさまへ

2018 / 6 / Vol.55



DOWA

証券コード:5714

連結決算ハイライト

	2014年度 (2015年3月期)	2015年度 (2016年3月期)	2016年度 (2017年3月期)	2017年度 (2018年3月期)
売上高 (億円)	4,642	4,065	4,105	4,547
営業利益 (億円)	390	350	339	309
経常利益 (億円)	420	350	365	363
親会社株主に帰属する 当期純利益 (億円)	265	218	261	246
総資産 (億円)	3,791	3,644	4,046	4,578
純資産 (億円)	1,956	2,033	2,278	2,477
1株当たり当期純利益 ^{*1} (円)	89.69	73.75	88.43	417.21
1株当たり配当金 ^{*1} (円)	18	18	18	90
1株当たり純資産 ^{*1} (円)	632.30	658.66	741.06	4,035.06
総資産経常利益率(ROA) ^{*2} (%)	11.4	9.4	9.5	8.4
自己資本当期純利益率(ROE) ^{*3} (%)	15.4	11.4	12.6	10.8
設備投資額 (億円)	172	229	265	246
減価償却費 (億円)	155	151	157	172
有利子負債 (億円)	866	811	799	1,098

*1 当社は、2017年10月1日付で普通株式5株を1株の割合で株式併合を実施しています。2018年3月期の「1株当たり当期純利益」「1株当たり配当金」「1株当たり純資産」は株式併合後の金額です。

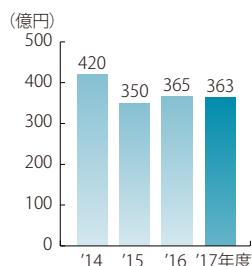
*2 ROAは経常利益を期中平均総資産で割って計算しております。

*3 ROEは親会社株主に帰属する当期純利益を期中平均自己資本で割って計算しております。

売上高の推移



経常利益の推移



親会社株主に帰属する 当期純利益の推移



総資産および 純資産の推移





2017年度 (2018年3月期) 連結経営成績と 今後の取り組み

代表取締役社長
関口 明

2017年度の連結経営成績

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

このたび代表取締役社長に就任しました関口明です。

2017年度(2018年3月期)における当社グループの事業の状況と経営成績をご報告申し上げます。

自動車関連製品の需要は、国内・海外とも堅調に推移しました。電子部品や新エネルギー関連の製品は、東アジアを中心に需要が伸長しました。相場環境については、亜鉛や銅などの金属価格が上昇しました。為替相場については、第3四半期までは概ね1ドル110円台で推移し、その後円高が進行しました。

当社グループは、特色ある5つの事業部門それぞれの領域において事業拡大を進めており、その総合力により事業環境の変化に強い、堅固な収益基盤を構築しています。加えて、為替相場や金属価格の変動にともなう損失発生リスクを低減することにより、収

益の安定化を図っています。

これらの結果、当期の売上高は前期比11%増の4,547億円となり、営業利益は同9%減の309億円となりました。経常利益は、探鉱費用の減少や鉱山会社の増益によって持分法による投資利益が増加したことなどから、前期並みの363億円となり、親会社株主に帰属する当期純利益は同6%減の246億円となりました。

なお、当社は、株主の皆様への配当を経営における最重要課題の一つと位置付けており、企業体質強化と将来の事業展開に備えた内部留保の充実を勘案のうえ、業績に応じた配当を行う方針としています。当期の配当金については、当期の業績、今後の事業展開、財務体質の強化などを総合的に勘案し、1株当たり90円としました。

今後の取り組み

環境・リサイクル部門	廃棄物処理	：低濃度PCB廃棄物の処理能力拡大、メルテックいわき(株)の本格操業による廃棄物の処理・再資源化の拡大
	土壌浄化	：土壌浄化の受注拡大、国内新規規め立て処分場の建設推進
	リサイクル	：海外からの原料集荷の拡大
	東南アジア	：インドネシアやタイにおける廃棄物処理施設の新設・拡張、業容の拡充
製錬部門	貴金属銅	：リサイクル原料の処理拡大、すずの増産
	レアメタル	：欧州や北米からのリサイクル原料集荷の拡大、金属回収量の増加
	亜鉛	：不純物対応力強化による22万トン体制の確立、亜鉛加工品の増産と東南アジアでの拡販
	資源開発	：ロス・ガトス亜鉛鉱山の建設
電子材料部門	半導体	：新規LEDの特性向上・ヘルスケア機器向けサンプルワークの拡大
	電子材料	：発電効率の高い新型太陽光パネル向け銀粉の拡販
	機能材料	：次世代アーカイブ用データテープ向け磁性粉の拡販、鉄粉の温熱製品への応用・拡販
	新規開発	：家庭用燃料電池向け電極材料の拡販、深紫外LEDの殺菌機器向けサンプルワークの拡大
金属加工部門	伸銅品	：自動車の電動化・知能化やIoT需要の拡大を捉えた銅合金の開発・拡販 ：生産性向上や設備増強による増産、中国・タイ・台湾拠点を活用したアジアでの拡販
	めっき	：新設したメキシコ工場の本格稼働、日本・タイのめっきラインの生産性向上
	回路基板	：産業機械向け拡販、鉄道・車載向けの新規拡販
	熱処理	：事業拡大する顧客からの確実な受注、国内外での生産能力増強
熱処理部門	工業炉	：国内を中心に自動車部品メーカー向け需要の取り込み、小規模・低コスト熱処理設備の拡販 ：部品の海外調達比率向上によるメンテナンス事業の収益力強化



建設中のロス・ガトス亜鉛鉱山



メルテックいわき(株)



HIGHTEMP FURNACES LTD. (インド)

2018年度の見通し

2018年度(2019年3月期)の業績予想については、売上高は前期比202億円増の4,750億円、営業利益は前期比10億円増の320億円、経常利益は前期比16億円増の380億円、親会社株主に帰属する当期純利益は前期比18億円増の265億円を計画しています。今後も市場の動向

を見極めながら、引き続き各施策を着実に実行し、事業の強化を進めていきます。

株主の皆様におかれましては、なお一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

損益計算書

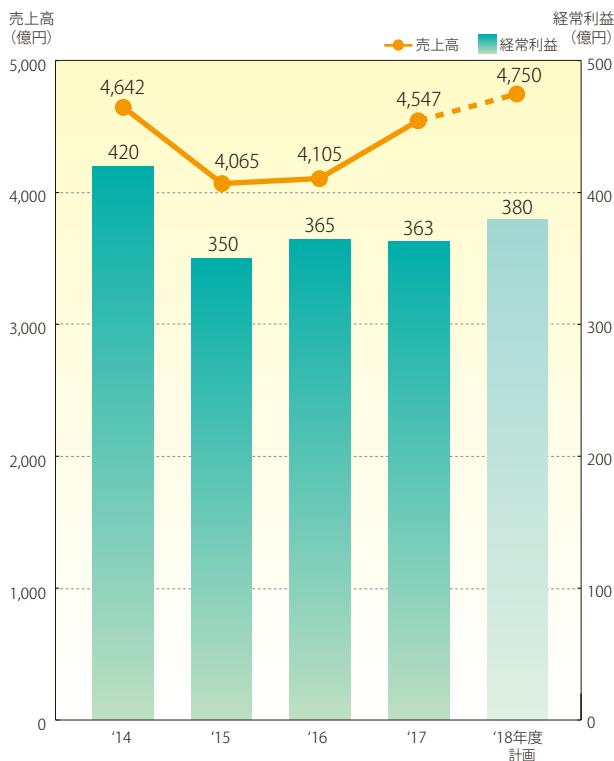
(単位:億円)

	2017年度 実績	2018年度 計画	増減
売上高	4,547	4,750	202
営業利益	309	320	10
経常利益	363	380	16
親会社株主に 帰属する当期純利益	246	265	18

為替相場、金属価格

	2017年度		2018年度
	上期実績	通期実績	通期前提
為替 (¥/\$)	111.1	110.9	110.0
銅 (\$/t)	6,005	6,444	7,000
亜鉛 (\$/t)	2,780	3,054	3,200

これまでの業績推移と2018年度の計画



❖ 変化する自動車市場への取り組み

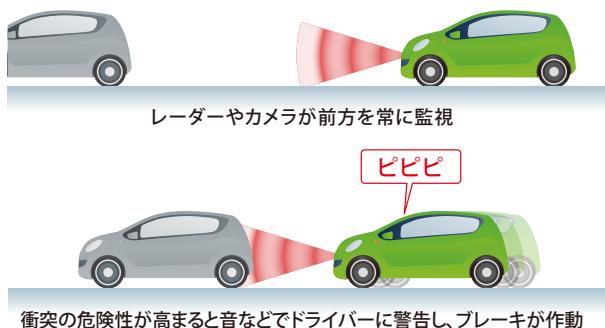
● 自動車の変革

世界人口の増加に加え、新興国の経済発展などにより、自動車の需要は今後も拡大が見込まれています。また、自動車を取り巻く環境は需要の拡大のみならず、環境面に配慮した取り組みや安全性・利便性向上への取り組みも進んでおり、大きな変革を迎えようとしています。

環境面においては、さらなる燃費向上ニーズや排ガス規制強化を背景に、動力源をガソリンから電気へ転換する「電動化」が進み、ハイブリッド車や電気自動車が普及・拡大しています。安全性・利便性向上においては、将来の自動運転を見据えた「知能化」が進んでおり、センサーやカメラなどを搭載した自動車が増加しています。

知能化の代表的な機能

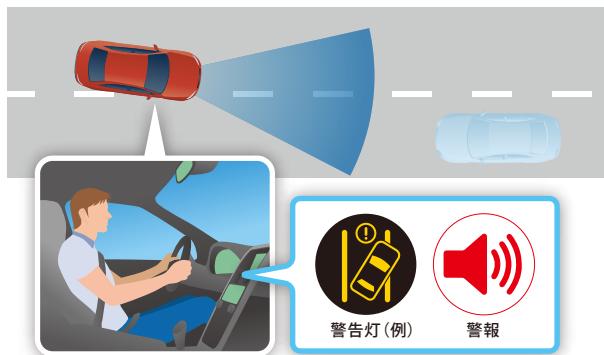
■ 衝突しそうになると自動ブレーキシステムが作動する



■ ドライブレコーダーで運転環境を監視する



■ 車線からはみ出すと警告音が鳴る



■ バックモニターで後方の安全を確認する



●DOWAグループの取り組み

「電動化」「知能化」がもたらす機能は、多くの材料や電子・電気部品によって支えられています。今後は電動化・知能化のみならず、自動車の需要拡大により「生産台数」も増加することから、自動車に搭載される材料や電子・電気部品などは、さらなる増加が見込まれています。

DOWAグループは、自動車に関連する特長ある製品・サービスを多く有していることから、この自動車の変革期を大きなチャンスと捉え、以下の取り組みを進めることで、自動車市場における事業の拡大を図っていきます。

当社製品との関連性：生産台数の増加 🚗 電動化 🌱 知能化 ☀️

ワイヤーハーネス・車内通信機器などの接続部品向け



金属加工部門

高特性銅合金
⇒ 増産・グローバル市場での拡販



エンジン、変速機の部品向け



熱処理部門

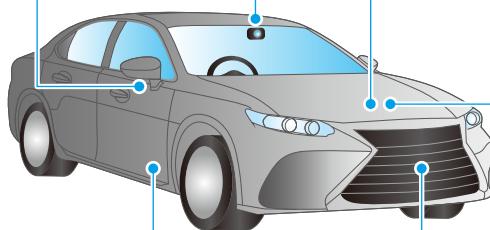
金属部品の熱処理
⇒ 熱処理加工の設備増強・増処理
(日本・インド・東南アジア)



パワーウィンドウ、レバー などのスイッチ向け



金属加工部門 貴金属めっき
⇒ 金めっき・銀めっきの拡販



モーター部品 (電力制御機器) 向け



金属加工部門

金属-セラミックス基板
⇒ 電気自動車向け拡販、
新規製品の開発



ボディ用薄板鋼板の防錆めっき向け



製錬部門 亜鉛

⇒ 原料の長期安定調達と増産



衝突回避装置(センサー・ミリ波レーダー)向け

電子材料部門 電波吸収材料

⇒ 誤作動防止用途へのサンプルワーク拡大



廃車後



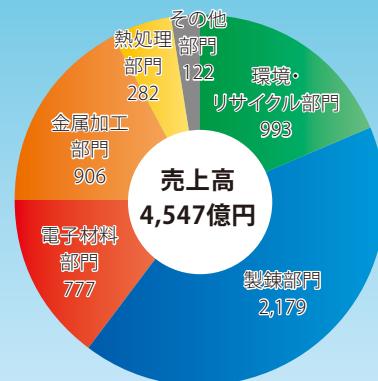
製錬部門 白金族リサイクル

⇒ 使用済み排ガス浄化触媒の集荷強化と金属回収量の拡大



部門別の 営業状況

部門別連結売上高構成 (2017年度)



※各部門の売上高には、連結調整による消去分713億円を含んでいます。

— 売上高 — 営業利益

環境・リサイクル部門

廃棄物処理事業は、国内の産業廃棄物発生量が横這いのなか、東北地区における処理案件の減少や一部の廃棄物処理施設の稼働低下がありました。土壌浄化事業は、自然由来汚染土壌に対応した浄化法などによる受注拡大に努めました。リサイクル事業は、廃電子基板や廃家電などの増集荷に努めました。海外事業は、インドネシアやタイにおいて廃棄物処理の受注を伸ばしましたが、高収益案件が一時的に停滞しました。

これらの結果に加え、金属価格の上昇もあり、当部門の売上高は前期比3%増の993億円となりましたが、営業利益は同25%減の49億円となりました。



廃電子基板

部門別連結売上高・営業利益の推移



製錬部門

金属価格は上昇し、為替相場は前期に比べ円安に推移したなか、貴金属銅事業は、アンチモンやすずなど副産金属の回収を拡大しました。PGM(白金族)事業は、使用済み自動車排ガス浄化触媒の集荷拡大に取り組み、金属の回収量を増加させました。亜鉛事業は、亜鉛価格上昇によるメリットがあった一方、買鉱条件の悪化や減価償却費の増加、電力価格上昇の影響を受けました。

これらの結果、当部門の売上高は前期比5%増の2,179億円、営業利益は同9%減の92億円となりました。



アンチモン

部門別連結売上高・営業利益の推移



電子材料部門

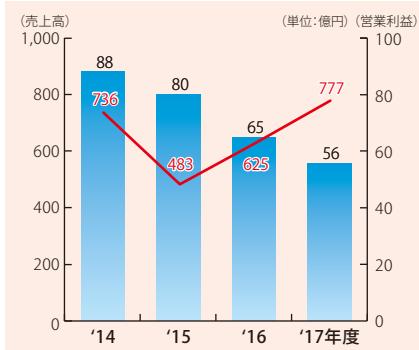
半導体事業は、スマートフォン向けLEDの需要が堅調に推移しました。電子材料事業は、太陽光パネル向け銀粉の販売が前期並みで推移し、設備投資により減価償却費が増加しました。機能材料事業は、アーカイブ用データテープ向け磁性粉の拡販に取り組みました。また、新規製品の採用拡大を進めるとともに、樹脂硬化・皮膚治療向け深紫外LEDなどの新規製品開発に積極的に研究開発費を投入しました。

これらの結果に加え、銀地金代を含む取引が増加したことなどにより、当部門の売上高は前期比24%増の777億円、営業利益は同15%減の56億円となりました。



アーカイブ用データテープ向け磁性粉

部門別連結売上高・営業利益の推移

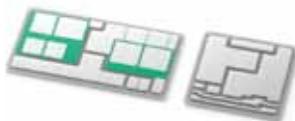


部門別の営業状況

金属加工部門

伸銅品事業は、国内外の自動車生産台数が増加するなか、自動車向けの販売を伸ばしました。また、東アジアにおいてスマートフォン向けの高特性品を拡販しました。めっき事業は、自動車の電装化需要を取り込み、国内外において堅調に販売を伸ばしました。回路基板事業は、拡大する産業機械向けの需要を取り込むとともに、鉄道向けや自動車向けの販売も伸ばしました。

これらの結果に加え、銅価格の上昇もあり、当部門の売上高は前期比20%増の906億円、営業利益は同5%増の72億円となりました。



金属-セラミックス基板

部門別連結売上高・営業利益の推移



熱処理部門

熱処理事業は、自動車産業の成長が続く海外における事業拡大を推進するなか、中国やインド、インドネシアにおいて自動車部品向け熱処理加工の受注が増加しました。また、国内においても堅調な自動車向けに加えて、産業機械や建設機械向けの需要を取り込みました。工業炉事業は、国内向けを中心に設備販売やメンテナンス受注を拡大しました。

これらの結果、当部門の売上高は前期比12%増の282億円、営業利益は同10%増の26億円となりました。



熱処理設備

部門別連結売上高・営業利益の推移



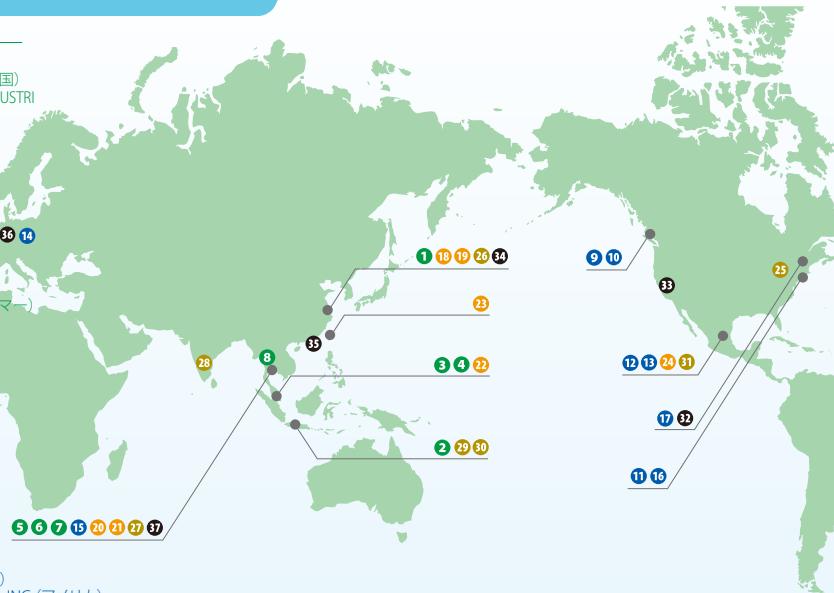
地図で見るDOWAグループ

DOWAエコシステム(株)

- 1 蘇州同和資源综合利用有限公司(中国)
- 2 PT. PRASADHA PAMUNAH LIMBAH INDUSTRI (インドネシア)
- 3 TECHNOCHEM ENVIRONMENTAL COMPLEX PTE. LTD. (シンガポール)
- 4 DOWA ECO-SYSTEM SINGAPORE PTE. LTD. (シンガポール)
- 5 WASTE MANAGEMENT SIAM LTD. (タイ)
- 6 BANGPOO ENVIRONMENTAL COMPLEX LTD. (タイ)
- 7 EASTERN SEABOARD ENVIRONMENTAL COMPLEX CO., LTD. (タイ)
- 8 GOLDEN DOWA ECO-SYSTEM MYANMAR COMPANY LIMITED (ミャンマー)

DOWAメタルマイン(株)

- 9 バンクーバー事務所(カナダ)
- 10 Cariboo Copper Corporation (カナダ)
- 11 NIPPON PGM AMERICA, INC. (アメリカ)
- 12 メキシコ事務所
- 13 MINERA TIZAPA, S.A. DE C.V. (メキシコ)
- 14 Nippon PGM Europe s.r.o. (チェコ)
- 15 DOWA METALS & MINING (THAILAND) CO., LTD. (タイ)
- 16 KEY METAL REFINING, LLC (アメリカ)
- 17 DOWA METALS & MINING AMERICA INC. (アメリカ)



DOWAメタルテック(株)

- 18 同和金属材料(上海)有限公司(中国)
- 19 同和新材料(上海)有限公司(中国)
- 20 DOWA METALTECH (THAILAND) CO., LTD. (タイ)
- 21 Dowa Precision (Thailand) Co., Ltd. (タイ)
- 22 シンガポール支店
- 23 同和利精密部品股份有限公司(台湾)
- 24 DOWA METALTECH MEXICO, S.A. de C.V. (メキシコ)

DOWAサーモテック(株)

- 25 DOWA THT AMERICA, INC. (アメリカ)
- 26 昆山同和熱処理工業炉有限公司(中国)
- 27 DOWA Thermotech (Thailand) Co., Ltd. (タイ)
- 28 HIGHTEMP FURNACES LTD. (インド)
- 29 PT. DOWA THERMOTEC INDONESIA (インドネシア)
- 30 PT. DOWA THERMOTEC FURNACES (インドネシア)
- 31 DOWA THERMOTEC MEXICO, S.A. DE C.V. (メキシコ)

その他

- 32 DOWA INTERNATIONAL CORPORATION (アメリカ)
- 33 DOWA INTERNATIONAL CORPORATION サンノゼ事務所(アメリカ)
- 34 同和企業管理(上海)有限公司(中国)
- 35 同和企業管理(上海)有限公司 深圳分公司(中国)
- 36 DOWA HD Europe GmbH (ドイツ)
- 37 DOWA HOLDINGS (THAILAND) CO., LTD. (タイ)

DOWAエコシステム(株)

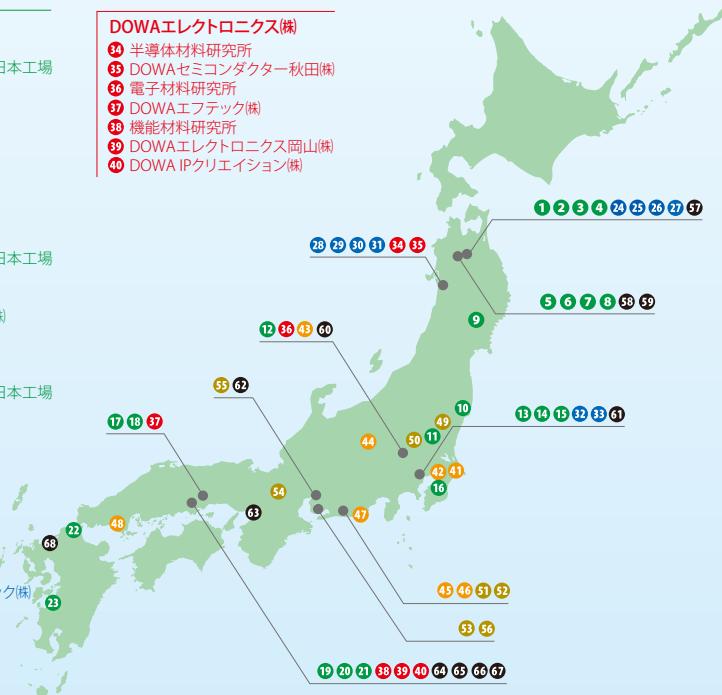
- 1 グリーンフィル小坂(株)
- 2 エコシステムリサイクリング(株) 北日本工場
- 3 エコシステム小坂(株)
- 4 オートリサイクル秋田(株)
- 5 環境技術開発センター
- 6 エコシステム秋田(株)
- 7 エコシステム花岡(株)
- 8 株エコリサイクル
- 9 DOWA通運(株)
- 10 メルテックいわき(株)
- 11 メルテック(株)
- 12 エコシステムリサイクリング(株) 東日本工場
- 13 エコシステムジャパン(株)
- 14 ジオテクノス(株)
- 15 イー・アンド・イー・ソリューションズ(株)
- 16 エコシステム千葉(株)
- 17 エコシステム山陽(株)
- 18 岡山鉱油(株)
- 19 エコシステムリサイクリング(株) 西日本工場
- 20 エコシステム岡山(株)
- 21 バイオディーゼル岡山(株)
- 22 光和精鉱(株)
- 23 アクトビーリサイクリング(株)

DOWAメタルマイン(株)

- 24 製錬技術研究所
- 25 小坂製錬(株)
- 26 株日本ピージーエム
- 27 秋田リサイクル・アンド・ファインパック(株)
- 28 秋田製錬(株)
- 29 秋田ジンクリソリューションズ(株)
- 30 秋田レアメタル(株)
- 31 秋田ジンクリサイクリング(株)
- 32 株アシッズ
- 33 ジンクエクセル(株)

DOWAエレクトロニクス(株)

- 34 半導体材料研究所
- 35 DOWAセミコンダクター秋田(株)
- 36 電子材料研究所
- 37 DOWAエフテック(株)
- 38 機能材料研究所
- 39 DOWAエレクトロニクス岡山(株)
- 40 DOWA IPクリエイション(株)



DOWAメタルテック(株)

- 41 新日本プラス(株)
- 42 豊栄商事(株)
- 43 DOWAハイテック(株)
- 44 DOWAパワーデバイス(株)
- 45 技術センター
- 46 DOWAメタル(株)
- 47 DOWAメタニクス(株)
- 48 TDパワーマテリアル(株)

DOWAサーモテック(株)

- 49 DOWAサーモエンジニアリング(株) 真岡工場
- 50 DOWAサーモエンジニアリング(株) 太田工場
- 51 DOWAサーモエンジニアリング(株) 浜松工場
- 52 DOWAサーモエンジニアリング(株) 浜松北工場
- 53 DOWAサーモエンジニアリング(株) 中京半田工場
- 54 DOWAサーモエンジニアリング(株) 滋賀工場
- 55 株セム
- 56 東熟興産(株)

その他

- 57 DOWAテクノロジーサーチ(株)
- 58 卯根倉鉱業(株)
- 59 秋田工管(株)
- 60 DOWAテクノロジー(株) 関東テクノセンター
- 61 本社
- 62 DOWAグループ名古屋支店
- 63 DOWAグループ大阪支店
- 64 DOWAテクノロジー(株) 西部テクノセンター
- 65 DOWAテクノロジー(株)
- 66 陽和工管(株)
- 67 DOWA興産(株)
- 68 DOWAグループ九州支店

連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	2016年度 2017.3.31	2017年度 2018.3.31	比較増減
資産の部			
流動資産	194,824	232,291	37,467
現金及び預金	15,589	16,935	1,346
受取手形及び売掛金	80,169	87,615	7,445
棚卸資産	81,801	106,341	24,539
その他流動資産	17,263	21,399	4,136
固定資産	209,780	225,549	15,769
有形固定資産	118,553	124,324	5,771
無形固定資産	9,950	9,010	△940
投資その他の資産	81,275	92,214	10,938
資産合計	404,604	457,841	53,237

流動資産のポイント

原材料及び貯蔵品が194億円、受取手形及び売掛金が74億円、流動資産その他が42億円増加したことなどにより、前連結会計年度末比374億円の増加となりました。

固定資産のポイント

投資その他の資産が109億円、有形固定資産が57億円増加したことなどにより、前連結会計年度末比157億円の増加となりました。

総資産のポイント

以上の結果、前連結会計年度末比532億円の資産増加となりました。

(単位:百万円)

科目	2016年度 2017.3.31	2017年度 2018.3.31	比較増減
負債の部			
流動負債	121,114	142,956	21,841
支払手形及び買掛金	34,268	37,338	3,069
短期借入金	38,956	44,402	5,445
コマーシャル・ペーパー	12,000	25,000	13,000
その他流動負債	35,889	36,215	326
固定負債	55,667	67,122	11,454
社債	10,000	10,000	—
長期借入金	18,926	30,424	11,498
その他固定負債	26,740	26,697	△43
負債合計	176,782	210,078	33,296
純資産の部			
株主資本	202,894	221,980	19,085
資本金	36,437	36,437	—
資本剰余金	26,350	26,222	△128
利益剰余金	145,809	165,029	19,219
自己株式	△5,703	△5,708	△5
その他の包括利益累計額	16,408	16,835	426
非支配株主持分	8,518	8,946	428
純資産合計	227,821	247,762	19,940
負債純資産合計	404,604	457,841	53,237

負債のポイント

有利子負債が299億円、その他流動負債が35億円増加したことなどにより、前連結会計年度末比332億円の増加となりました。

純資産のポイント

親会社株主に帰属する当期純利益を246億円計上し、配当金の支払いなどを行った結果、株主資本が190億円増加しました。また、その他の包括利益累計額が4億円増加し、純資産合計では前連結会計年度末に比較し199億円増加しました。この結果、自己資本比率は52.2%となりました。

連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	2016年度 2016.4.1~ 2017.3.31	2017年度 2017.4.1~ 2018.3.31	比較増減
売上高	410,503	454,754	44,251
売上原価	341,177	387,831	46,653
売上総利益	69,325	66,923	△2,402
販売費及び一般管理費	35,335	35,975	639
営業利益	33,990	30,948	△3,042
営業外収益	5,512	7,700	2,187
営業外費用	2,999	2,293	△706
経常利益	36,504	36,355	△148
特別利益	1,867	381	△1,485
特別損失	1,636	1,762	126
税金等調整前当期純利益	36,735	34,974	△1,760
法人税等	10,260	9,710	△550
非支配株主に帰属する当期純利益	304	570	266
親会社株主に帰属する当期純利益	26,169	24,693	△1,476

損益計算書のポイント

売上高は前年比442億円増の4,547億円、営業利益は同30億円減の309億円、経常利益は同1億円減の363億円、親会社株主に帰属する当期純利益は同14億円減の246億円となりました。

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科目	2016年度 2016.4.1~ 2017.3.31	2017年度 2017.4.1~ 2018.3.31	比較増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	29,389	11,125	△18,264
投資活動によるキャッシュ・フロー	△25,954	△34,010	△8,055
財務活動によるキャッシュ・フロー	△7,155	24,087	31,243
現金及び現金同等物に係る換算差額	△54	△115	△60
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△3,775	1,088	4,863
現金及び現金同等物の期首残高	18,902	15,126	△3,775
現金及び現金同等物の期末残高	15,126	16,472	1,346

営業活動によるキャッシュ・フローのポイント

税金等調整前当期純利益349億円や減価償却費の計上172億円、仕入債務の増加26億円などがあった一方で、棚卸資産の増加239億円や売上債権の増加73億円に加え、法人税等の支払い124億円などにより、111億円の収入となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローのポイント

環境・リサイクル部門などを中心とした設備投資などにより、340億円の支出となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローのポイント

有利子負債の増加303億円などがあった一方で、配当金の支払い55億円などにより、240億円の収入となりました。

取締役・監査役



代表取締役会長

山田 政雄



代表取締役社長

関口 明



取締役

光根 裕



取締役

松下 克治



取締役

加賀谷 進



取締役

川口 純



社外取締役

細田 衛士



社外取締役

小泉 淑子



監査役(常勤)

雪竹 克也



社外監査役(常勤)

小林 英文



社外監査役

武田 仁



社外監査役

中曽根 一夫

執行役員



執行役員
DOWAエコシステム(株)
代表取締役社長

飛田 実



執行役員
DOWAメタルマイン(株)
代表取締役社長

須山 俊明



執行役員
DOWAエレクトロニクス(株)
代表取締役社長

鈴木 浩二



執行役員
DOWAメタルテック(株)
代表取締役社長

菅原 章



執行役員
DOWAサーモテック(株)
代表取締役社長

辻 隆治



執行役員
DOWAテクノロジー(株)
代表取締役社長

山田 潔



執行役員
DOWAマネジメントサービス(株)
代表取締役社長

若林 英一

会社概要・株式の状況 (2018年3月31日現在)

会社概要

創業	1884年9月18日	主な事業内容
設立	1937年3月11日	環境・リサイクル事業、
資本金	364億37百万円	製錬事業、電子材料事業、
DOWAグループ の社員数	約6,400人	金属加工事業、 熱処理事業

株式の状況

会社が発行する株式の総数	200,000,000株
発行済み株式の総数	61,989,206株
株主数	11,268名

大株主

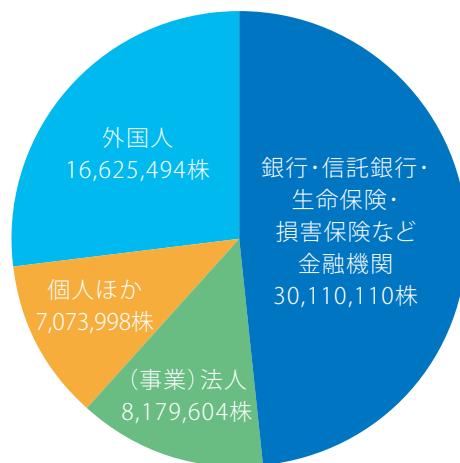
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	11.24%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	10.22%
藤田観光株式会社	4.79%
全国共済農業協同組合連合会	3.06%
J.P. MORGAN BANK LUXEMBOURG S.A. 380578	2.65%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	2.15%
JFEスチール株式会社	1.87%
株式会社みずほ銀行	1.60%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口5)	1.59%
日本生命保険相互会社	1.54%

当社は自己株式1,887千株を保有しており、持分比率については、自己株式を控除しています。

主要子会社

DOWAエコシステム(株)	環境・リサイクル事業会社
DOWAメタルマイン(株)	製錬事業会社
DOWAエレクトロニクス(株)	電子材料事業会社
DOWAメタルテック(株)	金属加工事業会社
DOWAサーモテック(株)	熱処理事業会社

所有者別株式分布状況



株価および出来高の推移



当社は、2017年10月1日を効力発生日として、普通株式5株を1株の割合で株式併合しました。このグラフは株価と出来高を併合後の数値に調整して表記しています。

株主メモ

決 算 期	3月31日
定 時 株 主 総 会	6月
基 準 日	3月31日 その他必要あるときは、あらかじめ公告した日
期末配当金支払株主確定日	3月31日
公 告 方 法	電子公告 (http://www.dowa.co.jp) ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行う。

株主名簿管理人 および特別口座管理機関

東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社

(郵便物送付先)

〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先)

0120-782-031 (フリーダイヤル)

(ホームページアドレス)

<https://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>



表紙写真について

熱処理部門では、自動車向けを中心に金属部品の耐久性向上に欠かせない熱処理加工サービスや熱処理設備の製造・販売をしています。表紙となった浜松北工場では、熱処理設備を設計・製造しています。

DOWAホールディングス株式会社

〒101-0021

東京都千代田区外神田四丁目14番1号 秋葉原UDX22階

電話番号 03-6847-1100

ホームページアドレス <http://www.dowa.co.jp>

表紙写真: DOWAサーモエンジニアリング(株) 浜松北工場の社員

